一　般　質　問

平成 28 年第 2 回定例会（6 月 10 日）

質　問　者	内　　容	答弁を求める者
井上武津男	１．地震対応について （１）和束町近辺には、どの様な活断層があるか。 ①それらの地層が動き、甚大な災害が生じた場合（地震による災害）、町としてはどの様な対応を行われるのか。 ②マグニチュード７クラスの地震に耐えられる町の施設はどれぐらいあるか。 ③避難所としての各施設の収容人数はどれくらいか。 ④健常者の受入れ施設とは別に、弱者（障害者・要介護者・幼児）のための「福祉避難所」の確保は。また、そこへ誘導する避難経路、職員の対応は整備されているか。 ⑤感染症や夏場であれば熱中症等が発生した場合、アウト・ブレイク（一斉発生）する可能性があり、この様な場合に備えての対応は。 ⑥道路が寸断され町が孤立した場合、食料・飲料水の確保は何日分用意されてるか。 ⑦道路が寸断され町が孤立した場合、救援物資は空から受けることになりますが、ヘリポートの確保は。３地域についてお答え下さい。（中和束・木屋・湯船地域） （２）東南海地震等他地域震災により、和束自体には直接的な被害がなく、ただその事により停電が１ヶ月以上続いた場合。 ①水道・下水道への影響はどの様なものであるか。 ②下水道の場合、ポンプアップしている箇所においては「汚物の吹き出し」という最悪の状態が引き起こされる事がないか。	町長 総務課長 福祉課長 町長 建設事業課長
竹内きみ代	１．地方創生（地域再生法）の推進について ①地方創生推進交付金の申請について、どの様な内容を検討されているのか。 ②「企業版ふるさと納税」についての考えを問う。 ２．高齢者支援の推進について ①介護支援ボランティア（地域活動）ポイント制度を検討しては。 ②ふれあいサロンの充実についての考えを問う。 ３．自殺防止対策について ①現状をどのように把握されているか。 ②対策計画が自治体に義務付けられた。今後の対応について伺う。 ４．町オリジナルの婚姻届について ①本町の婚姻届数の推移と町オリジナル婚姻届の作成を ②新しい門出やさまざまな記念日に庁舎内で茶畑景観パネルやキャラクターを使った記念撮影ができるコーナーの設置を	町長 地方創生担当課長 町長 福祉課長 町長 福祉課長 総務課長 税住民課長

岡本　正意	１．熊本地震を受けて防災対策の強化について （１）「被災者生活再建支援制度」の拡充（支援金の増額、支給対象の拡大等）を政府に要請を。 （２）避難、避難所の運営に関わる対策について ①各避難所の開設、運営に当たる担当職員の配置は決まっているのか。また運営スタッフを確保する計画はあるのか。 ②防災計画では、避難所でのプライバシーの確保、女性や子育て家庭、高齢者や障害者等に配慮した運営を定めているが、それを実施する準備はできているのか。 ③屋外での避難生活を想定した場所の確保支援体制はどうなっているか。 ④学校施設の避難所機能の早期の強化を。 （３）仮設住宅の建設について ①防災計画では「二次災害の危険のない応急仮設住宅建設適地を選定し」とあるが選定はされているのか。 （４）原発事故災害の備えについて ①防災計画での位置づけはどうなっているのか。 ②原子力災害対策指針では UPZ 外においても防護措置のあり方を提示しており、最低限指針に基づく対策は防災計画に盛り込み住民に周知すべき ③放射線測定器を保持し、独自の測定実施を	町長 総務課長
	２．空き家活用による住宅確保について （１）町は空き家活用を住宅確保の核としているが、調査を踏まえた具体的な方針や計画はどのようなものか。 （２）空き家バンクや改修費用への補助等の制度創設の目途は。	町長 農村振興課長
	３．同和行政について （１）東区のみに実施している防犯灯管理経費の補助はやめるべき。または全区で同様の補助の実施を。 （２）人権ネット等への補助金支出は直ちに廃止を。	町長